

平成 20 年 3 月期 第 3 四半期財務・業績の概況

平成 20 年 2 月 8 日

上場会社名 新ダイワ工業株式会社 上場取引所 東証二部
 コード番号 6320 URL <http://www.shindaiwa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 浅本 泰
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 尾和 茂治 TEL (082)849-2001

(百万円未満四捨五入)

1. 平成 20 年 3 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 19 年 12 月 31 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年3月期第3四半期	18,766	△6.6	△67	—	△272	—	△331	—
19年3月期第3四半期	20,082	9.1	955	27.5	781	54.8	387	34.1
19年3月期	28,385		1,570		1,283		617	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
20年3月期第3四半期	△13	66	—	
19年3月期第3四半期	18	30	18	11
19年3月期	29	15	28	87

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
20年3月期第3四半期	24,389		8,871		36.1	345	43	
19年3月期第3四半期	23,544		8,240		34.8	386	16	
19年3月期	23,822		8,507		35.5	396	44	

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー		投資活動によるキャッシュ・フロー		財務活動によるキャッシュ・フロー		現金及び現金同等物期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
20年3月期第3四半期	△654		△1,265		2,149		1,309	
19年3月期第3四半期	376		△546		△295		1,246	
19年3月期	246		△808		△33		1,100	

2. 配当の状況

	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
(基準日)	円 銭	円 銭	円 銭
19年3月期	—	7 00	7 00
20年3月期(実績)	—	—	4 00
20年3月期(予想)	—	4 00	—

3. 業績予想 【参考】

(1) 平成 20 年 3 月期の連結業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通 期	26,000	△8.4	△280	—	△730	—	△940	—	△36	85

(2) 平成 20 年 3 月期の個別業績予想 (平成 19 年 4 月 1 日 ~ 平成 20 年 3 月 31 日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
通 期	22,440 △8.8	△610 —	△890 —	△1,020 —	△39 98

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う
特定子会社の異動) : 有・無
- (2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有・無
- (3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有・無

[(注) 詳細は、4 ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

通期の業績予想 (連結および個別) ならびに期末配当金の予想につきましては、前回公表 (平成 19 年 11 月 13 日付) いたしました予想から修正しております。詳細は、別途本日公表しております「平成 20 年 3 月期業績予想 (連結および個別) ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、上記の予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提・見通し計画に基づく予測が含まれております。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第 3 四半期におけるわが国経済は、引続き企業収益の改善が進み、外需を中心とした緩やかな回復基調で推移いたしました。原油高・円高、米国景気への減速懸念など外的リスクがさらに深化し、また、素材・消費財の相次ぐ値上げに加えて、改正建築基準法の施行による住宅着工数の急減や政治不信も新たなリスク要因として懸念が強まったことで、景気の先行きは予断を許さない状況にあります。一方、世界経済においても、サブプライムローン問題に端を発した金融市場不安はなおも引続いており、世界的な株安傾向に陥るなど、不透明感がより一層強まってまいりました。

このような状況の下、当社グループの業績の概要は次のとおりです。

《国内》

(農・林業用機械)

主力の刈払機、エンジンチェンソーがともに前年同期に比べると若干伸び悩んだものの、変わって管理機、乗用モアといった農機の新製品の売上が好調に推移した結果、前年同期実績を上回りました。

(建設・土木・鉄工用機械)

主要販売先である建機・レンタル、鉄骨、設備業者等が改正建築基準法の影響などから、建設現場向けの商品を買控え、苦戦を強いられたことで、売上は前年実績を割り込みました。

《海外》

(農・林業用機械)

主力の米国市場を昨年襲った干ばつの影響と一部製品の不具合による損失を徐々に回復はしてきたものの、不具合対策品の市場投入の遅れと、更なる燃料費の値上げ等により市場での買控え傾向が強まり、前年同期の売上に比べると大幅に下回る結果となりました。

(建設・土木・鉄工用機械)

ディーゼルエンジン溶接機が資源国向け製品の拡販等で大幅に前年実績を上回り、また、上半期まで不振だったディーゼルエンジン発電機の売上が北米を始めとして急速に回復してきたものの、エンジンカッターの売上が振るわず、全体ではわずかに前年実績を下回りました。

この結果、当該四半期の連結売上高は 187 億 66 百万円（前年同期比 6.6%減）で、売上面では前年実績を下回る結果となりました。利益面においては、上半期の売上減に伴う生産調整を行なったことに加え、競争の激化による販売単価の低下、原材料費の高騰、更には為替が円高傾向で推移したこと等が利益を圧迫する要因となりました。営業損失は 67 百万円（前年同期営業利益 9 億 55 百万円）、経常損失は 2 億 72 百万円（前年同期経常利益 7 億 81 百万円）、四半期純損失は 3 億 31 百万円（前年同期四半期純利益 3 億 87 百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第 3 四半期末の財政状態は、前連結会計年度末と比較し、資産の部は、受取手形及び売掛金が減少しましたが、たな卸資産の増加およびソフトウェアの取得による無形固定資産の増加等により 5 億 67 百万円の増加となりました。

負債の部は、買掛金が減少しましたが、短期借入金、長期借入金が増加したこと等により 2 億 3 百万円の増加となりました。

純資産の部は、四半期純損失による利益剰余金の減少がありましたが、一般募集による増資およびオーバーアロットメントによる売出しに伴う第三者割当増資を実施したことにより、資本金と資本剰余金が増加いたしました。それらにより、3 億 64 百万円の増加となりました。

キャッシュ・フローの状況につきましては、以下に記載しておりますキャッシュ・フローにより、当第 3 四半期末の現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比較し 2 億 9 百万円増加し、13 億 9 百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、売上債権が減少したものの、たな卸資産の増加等により 6 億 54 百万円の支出（前年同期比 10 億 30 百万円の支出増）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産および無形固定資産の取得等により 12 億 65 百万円の支出（前年同期比 7 億 19 百万円の支出増）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、主として、長期借入れおよび株式の発行による収入により 21 億 49 百万円の収入（前年同期比 24 億 44 百万円の収入増）となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成 20 年 3 月期の業績予想につきましては、前回公表（平成 19 年 11 月 13 日付）いたしました予想を上記のとおり修正いたしました。同修正の内容ならびに修正の理由につきましては、本日公表いたしました「平成 20 年 3 月期業績予想（連結および個別）ならびに配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照願います。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

引当金の計上基準及び税金費用の計上基準等に一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

（たな卸資産の評価方法の変更）

米国子会社のたな卸資産の評価方法は、従来、後入先出法による低価法により評価しておりましたが、当連結会計年度より先入先出法による低価法に変更しております。

変更理由は、以下のとおりであります。

- ① 近年の地金（銅、鉛等）を主要とした原材料価格の大幅な変動を受け、たな卸資産の貸借対照表価額と時価の乖離が顕著になったことから、財政状態を適正に表示するために乖離を減らす必要が生じたため。
- ② 後入先出法を適用することで四半期連結財務諸表と中間連結財務諸表及び連結財務諸表との間に生じる在庫水準の変動による損益への影響を排除し、より適正な経営成績を表示するため。
- ③ 国際会計基準において、後入先出法は認められなくなっているため。

これに伴い、従来の方法によった場合に比べて、営業損失、経常損失および税金等調整前四半期純損失は、それぞれ 158 百万円減少しております。

また、当連結会計年度より、「連結財務諸表作成における在外子会社の会計処理（会計方針の変更に伴う財務諸表の遡及修正）に関する当面の取扱い」（実務対応報告第 18 号 平成 18 年 5 月 17 日改正）を早期適用し、米国子会社において行った会計処理の変更に伴う財務諸表の遡及修正を、連結決算手続上、当期の損益とするよう修正を行っております。

（有形固定資産の減価償却の方法の変更）

当社および国内連結子会社は、法人税法の改正（（所得税法等の一部を改正する法律 平成 19 年 3 月 30 日 法律第 6 号）および（法人税法施行令の一部を改正する政令 平成 19 年 3 月 30 日 政令第 83 号））に伴い、当連結会計年度から、平成 19 年 4 月 1 日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

当該変更に伴う損益に与える影響は、軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	〔平成19年3月期 第3四半期末〕	〔平成20年3月期 第3四半期末〕	金 額	増減率	(平成19年3月期末) 金 額
(資産の部)					
I 流 動 資 産					
1 現金及び預金	1,246	1,309	63	5.1	1,100
2 受取手形及び売掛金	7,815	7,062	△753	△9.6	9,038
3 たな卸資産	6,004	6,145	142	2.4	5,080
4 繰延税金資産	499	316	△183	△36.6	354
5 その他	388	601	213	55.0	481
貸倒引当金	△137	△139	△2	1.3	△138
流動資産合計	15,814	15,294	△520	△3.3	15,915
II 固 定 資 産					
1 有 形 固 定 資 産					
(1) 建物及び構築物	2,313	2,462	149	6.4	2,272
(2) 機械装置及び運搬具	436	473	37	8.5	438
(3) 土地	2,046	2,040	△6	△0.3	2,044
(4) 建設仮勘定	187	408	221	118.6	326
(5) その他	391	376	△15	△3.8	380
有形固定資産合計	5,373	5,758	386	7.2	5,460
2 無 形 固 定 資 産	84	912	828	982.9	118
3 投資その他の資産					
(1) 投資有価証券	831	792	△39	△4.6	827
(2) その他	1,479	1,667	189	12.8	1,537
貸倒引当金	△36	△36	1	△1.5	△36
投資その他の資産合計	2,273	2,424	151	6.6	2,328
固定資産合計	7,730	9,095	1,364	17.7	7,907
資 産 合 計	23,544	24,389	845	3.6	23,822

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期末	当四半期末	増 減		(参考) 前期末
	〔平成19年3月期 第3四半期末〕	〔平成20年3月期 第3四半期末〕	金 額	増減率	(平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額		金 額
(負債の部)					
I 流動負債					
1 買掛金	8,077	7,017	△1,060	△13.1	7,753
2 短期借入金	2,341	3,389	1,048	44.8	2,851
3 未払法人税等	207	-	△207	△100.0	289
4 未払金	-	1,628	1,628	-	1,256
5 役員賞与引当金	-	-	-	-	33
6 その他	2,182	688	△1,494	△68.5	849
流動負債合計	12,807	12,722	△85	△0.7	13,031
II 固定負債					
1 長期借入金	2,078	2,348	270	13.0	1,805
2 繰延税金負債	173	165	△8	△4.7	210
3 役員退職給与引当金	161	180	19	11.7	165
4 その他	84	103	19	22.3	104
固定負債合計	2,496	2,796	300	12.0	2,284
負債合計	15,304	15,518	214	1.4	15,315
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	2,833	3,340	507	17.9	2,833
2 資本剰余金	2,956	3,475	519	17.6	2,951
3 利益剰余金	2,561	2,310	△250	△9.8	2,791
4 自己株式	△385	△153	232	△60.3	△351
株主資本合計	7,965	8,972	1,008	12.7	8,224
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	78	△6	△84	△107.6	86
2 繰延ヘッジ損益	-	-	-	-	30
3 為替換算調整勘定	141	△154	△295	△209.1	113
評価・換算差額等合計	219	△160	△379	△173.0	228
III 少数株主持分	56	58	2	3.5	54
純資産合計	8,240	8,871	631	7.7	8,507
負債及び純資産合計	23,544	24,389	845	3.6	23,822

(注) 前年同四半期末において、「未払金」1,255百万円は、流動負債の「その他」に含めて表示しております。

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期	当四半期	増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)
	〔平成19年3月期〕 第3四半期	〔平成20年3月期〕 第3四半期	金 額	増減率	金 額
I 売 上 高	20,082	18,766	△1,316	△6.6	28,385
II 売 上 原 価	13,927	13,421	△506	△3.6	19,944
売上総利益	6,154	5,344	△810	△13.2	8,441
III 販売費及び一般管理費	5,199	5,411	212	4.1	6,871
営業利益 又は営業損失(△)	955	△67	△1,022	△107.0	1,570
IV 営業外収益	80	90	10	13.0	114
V 営業外費用	255	295	40	15.9	401
経常利益 又は経常損失(△)	781	△272	△1,052	△134.8	1,283
VI 特別利益	10	10	△0	△3.7	9
VII 特別損失	107	3	△104	△97.2	153
税金等調整前四半期 (当期)純利益 又は税金等調整前 四半期純損失(△)	685	△264	△949	△138.6	1,139
税金費用	292	61	△231	△79.2	514
少数株主利益	6	6	0	2.8	8
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失(△)	387	△331	△718	△185.7	617

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期	当四半期	(参考) 前期
	〔平成19年3月期〕 第3四半期	〔平成20年3月期〕 第3四半期	(平成19年3月期)
	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前四半期(当期)純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	685	△ 264	1,139
減価償却費	309	385	442
売上債権の増減額(増加は△)	△ 244	1,856	△ 1,467
たな卸資産の増減額(増加は△)	△ 2,001	△ 1,139	△ 1,103
仕入債務の増減額(減少は△)	2,200	△ 570	1,883
その他	△ 139	△ 362	△ 222
小 計	810	△ 96	670
利息及び配当金の受取額	38	39	47
利息の支払額	△ 27	△ 50	△ 36
法人税等の支払額	△ 443	△ 547	△ 434
営業活動によるキャッシュ・フロー	376	△ 654	246
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
有形固定資産の取得による支出	△ 470	△ 675	△ 700
無形固定資産の取得による支出	-	△ 458	△ 29
その他	△ 76	△ 132	△ 79
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 546	△ 1,265	△ 808
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
短期借入金の純増減額(減少は△)	153	△ 360	463
長期借入れによる収入	-	1,800	-
長期借入金返済による支出	△ 320	△ 359	△ 393
株式の発行による収入	-	1,001	-
配当金の支払額	△ 147	△ 148	△ 147
その他	19	215	44
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 295	2,149	△ 33
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	15	△ 22	0
V 現金及び現金同等物の増減額 (減少は△)	△ 450	209	△ 595
VI 現金及び現金同等物の期首残高	1,695	1,100	1,695
VII 現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	1,246	1,309	1,100

(4) 販売実績

当第3四半期における販売実績を商品区分ごとに示すと、次のとおりであります。

(単位：百万円)

区 分	前年同四半期 〔平成19年3月期〕 第3四半期		当四半期 〔平成20年3月期〕 第3四半期		増 減		(参考) 前期 (平成19年3月期)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
農・林業用機械	8,329	41.5	7,520	40.1	△ 808	△ 9.7	12,492	44.0
建設・土木・鉄工用機械	8,030	40.0	7,643	40.7	△ 387	△ 4.8	10,612	37.4
部品	3,302	16.4	3,177	16.9	△ 125	△ 3.8	4,716	16.6
その他	421	2.1	425	2.3	4	1.1	565	2.0
連結売上高	20,082	100.0	18,766	100.0	△ 1,316	△ 6.6	28,385	100.0